

第40回生殖・発生毒性学東京セミナーのお知らせ-第2報です。

生殖・発生毒性学東京セミナーを下記のとおり開催いたします。  
多くの方の参加をお待ちしております。

記

日時：2025年3月1日 土曜日 13～17時

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟（405号室）

参加費：1,500円 懇親会費：4,000円（予定）、税区分は不課税です。

参加受付：生殖・発生毒性学東京セミナーHP お知らせページにて受付中です。

当日参加も可能ですが、出来るだけ事前登録（特に懇親会に参加される場合）をお願いいたします。

プログラム：

13:05～ 受け付け

13:20～ 開会のことば

進行係 名波 委員、宇佐見 委員

13:25～14:00 「NITE-CHRIP、NITE ケミマガ、GHS 関連情報等、化学物質に関する情報の取得法について（NITEのHPから化学物質に関する情報を取らないと『NITE』）」

中村 るりこ 先生 （独）製品評価技術基盤機構 情報基盤課

「NITE-CHRIP、GHS、ケミマガが参加者の皆様にとって、より良い情報収集先となれば嬉しいです。」

14:05～14:40 「有害性評価支援システム統合プラットフォーム（Hazard Evaluation Support System Integrated Platform、通称：HESS）について」

渡邊 美智子 先生 （独）製品評価技術基盤機構 リスク評価課

「HESS（Hazard Evaluation Support System Integrated Platform）に収載されている情報の活用について」

「HESSに収載されている反復投与毒性試験等の情報をどのように活用できるか検討する。」

（休憩）

14:50~15:35 「周産期児動物の甲状腺ホルモン（TH）測定：なぜ必要？ いつ必要？  
どのように？」

山田 智也 先生 住友化学（株） 生物環境科学研究所

「周産期ラット（母動物ならびに児動物）における甲状腺影響の評価法は発展途上です。一方、規制面で当該評価の必要性は増しています。今回、周産期ラットでの TH 測定の必要性、タイミング、評価の注意点に関して演者の経験を基に概説します。」

15:40~16:30 「生殖・発生毒性評価のための OECD テストガイドラインの変遷—内分泌かく乱物質の検出・同定を重視—」

美濃部 安史 先生 MYTOX リサーチ代表

「農薬及び高生産量化学品を対象とした OECD TG は、2007 年以降内分泌かく乱（ED）物質を検出可能なように順次改訂され、10 数年をかけほぼ体系化された。EU では ED 作用を有害性評価項目として CLP 分類が義務化された。現在、国連において GHS 分類への組み込みも議論されている。改訂 TG の概要と改訂に至る経緯を演者の推論も含め概説したい。」

16:30~ 閉会のことば

17:00~ 懇親会（国立オリンピック記念青少年総合センター内で開催予定）

当セミナーでは、参加者の皆さまからのご要望などを随時受け付けています。

生殖・発生毒性に関する質問や演題の提案など、何でも OK です。

セミナー当日でも事前にでも、いつでも事務局宛にご連絡下さい。匿名扱いでも OK です。

質問などへの回答などはセミナー当日の講演時間以外に行います。

ご連絡の程、よろしくお願いいたします。

また、生殖・発生学東京セミナーの実行委員として協力して下さる方も随時募集しています。実務経験が無くても、生殖・発生毒性に興味のある方であれば、歓迎いたします。

ご応募の程、よろしくお願いいたします。

---

問合せ先：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局

Email: [tokioseminar@gmail.com](mailto:tokioseminar@gmail.com)

生殖・発生毒性学東京セミナーHP

(検索エンジンでは見つかりません、スマホ可)  
<http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>  
会員専用ページパスワード : TaylorSwift1989

---

以上